

令和3年度 第3回 射水市在宅医療・介護連携推進協議会（書面開催）議事録

1 日 時：令和4年2月25日（金）～令和4年3月8日（火）

2 委 員：島多会長、松浦副会長、矢野委員、北林委員、稲田委員、永野委員  
毛利委員、櫻田委員、森委員、阿部委員、長谷委員、新谷委員

3 報告事項

在宅医療・介護連携推進協議会各ワーキング部会の実施報告について

4 会議資料

- ・在宅支援ワーキング部会 資料1
- ・情報共有ワーキング部会 資料2
- ・普及啓発ワーキング部会 資料3
- ・令和3年度ワーキング部会実施状況について 参考資料1
- ・思いを伝えるノート（射水市終活支援ノート） 参考資料2

5 書面開催概要

令和4年2月25日、委員宛に書面による審議について通知し、意見の回答を依頼した。報告事項について2月25日から3月8日までの期間中、12名の委員に審議いただき、12名から回答が得られた。委員からの意見を取りまとめ、送付した。

6 委員からの意見 別紙1参照

1. 在宅医療・介護連携推進協議会 委員からの意見

在宅支援ワーキング部会	
資料番号	意見
資料1・P1	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋力をつけるためには運動だけでなく、食事も大切と考えるので、栄養、食事に関する研修会が必要と思う。</li> <li>「在宅療養者の食支援モデル事業」は介護保険で足りない部分を補うものとなるが摂食、嚥下や栄養の問題は重要な事であり継続していくことが大切と思う。</li> </ul>
資料1・別紙1・P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護認定を受けている患者さんで栄養不良の方おられる。ケアマネジャーとの状況共有を図れば、在宅療養者の栄養・食事指導モデル事業の事例数は増えると思われる。</li> <li>在宅療養者の栄養・食事指導モデル事業の対象者選定については、入院中の患者の了解をもらうことが難しいという課題がある。ケアマネジャーや地域包括支援センターが訪問している中で、低栄養やフレイルのリスクがある方を選定していくのが良い。</li> </ul>
資料1-1・P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護者支援のアンケート項目（3）で、介護者がリフレッシュできていない理由を聞く項目を追加することで、介護負担軽減のための調整ができるのではないかと。</li> </ul>
情報共有ワーキング部会	
資料番号	意見
資料2・別紙3・P5	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取り事例報告会、情報交換会の必要性を感じた。</li> <li>在宅における看取りの意味や意義は、今後、専門職から一般住民の方々へ説いていくことが必要と考える。</li> </ul>
資料2・P1	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種連携支援システムの登録施設数、ID発行数が増加しており、更に利用頻度が多くなって欲しい。</li> <li>射水市訪問歯科診療等実施一覧の更新は良かったと思う。利用の評価を行って欲しい。</li> <li>多職種連携を強めていくためには連携支援システムの運用、face to faceの関係がこれからも大切であり、事業所やケアマネジャーとの密な連携を続けていくこと、特に医師が積極的に前に出て進めていくことが必要です。</li> </ul>
普及啓発ワーキング部会	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年間ケーブルテレビでの普及啓発となりましたが、いろいろなテーマでの講演会を繰り返し行っていくことで人々の中に在宅ケアが当たり前になってゆくことを望みます。</li> </ul>
全体を通しての意見	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、多職種連携を進めていきたい。</li> <li>歯科医師や栄養士さんとの連携を考えていきたい。</li> </ul>

2. 在宅医療・介護連携推進協議会 委員からの質問

情報共有ワーキング部会	
資料番号	質問
資料2・別紙4・P6	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度多職種連携研修会の申し込み数を教えていただきたい。</li> </ul> <p><b>【回答】</b> 在宅医療いみずネットワーク事務局にて集計中のため、次年度に実績報告させていただきます。</p>

令和3年度 第3回射水市在宅医療・介護連携推進協議会（書面開催）

1 報告事項

(1) 各ワーキング部会の実施報告について

ア 在宅支援ワーキング部会

資料1

- ・在宅療養者の食支援について
- ・介護者支援について

イ 情報共有ワーキング部会

資料2

- ・多職種連携支援システムについて
- ・診療情報提供書の様式改正について
- ・訪問歯科診療等実施一覧の作成について
- ・看取り事例報告会・情報交換会について
- ・多職種連携研修会について

ウ 普及啓発ワーキング部会

- ・在宅医療と介護を考える市民講座について

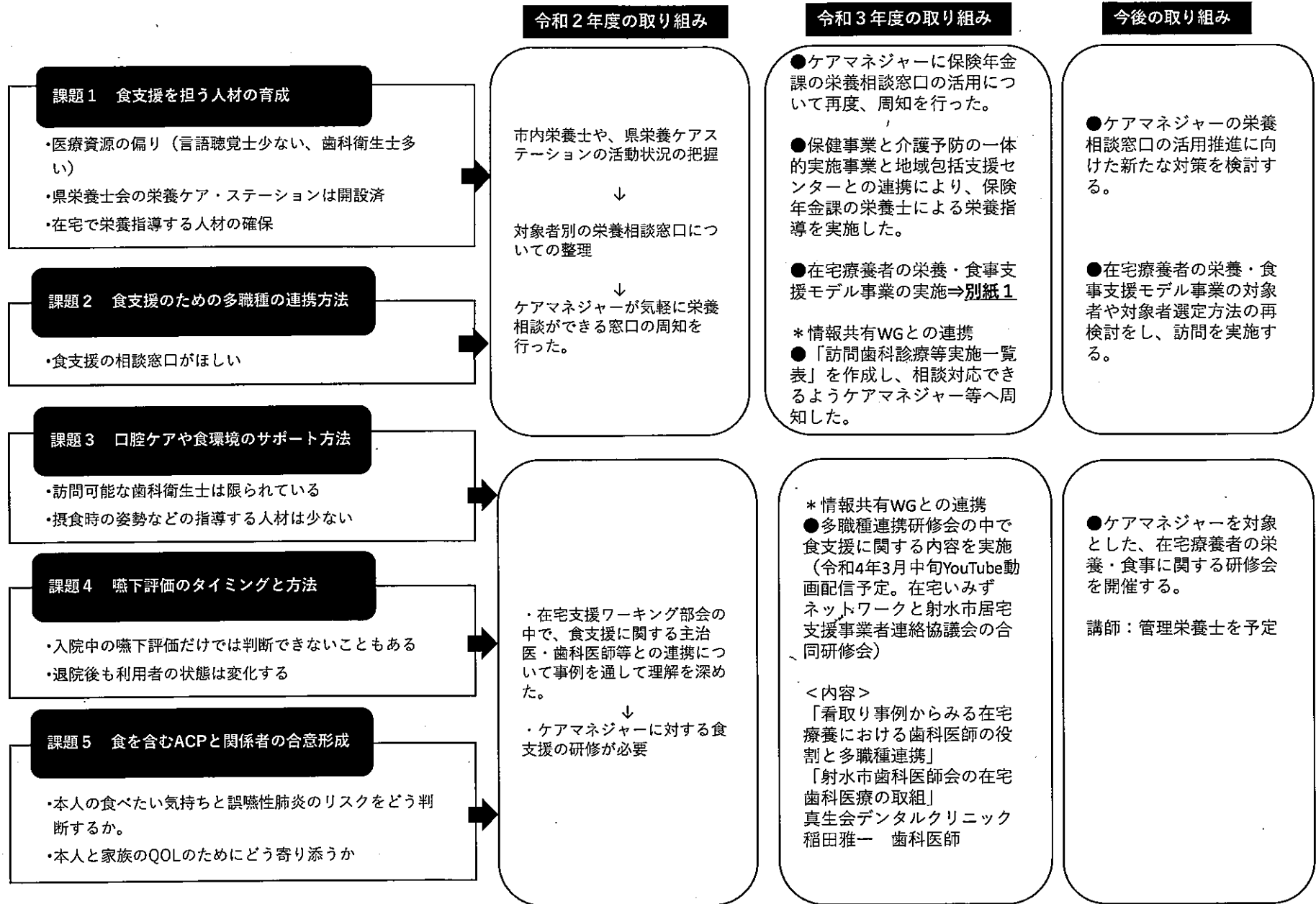
資料3

参考資料1 令和3年度ワーキング部会実施状況について

参考資料2 思いを伝えるノート（射水市終活支援ノート）2022年2月発行

# 在宅支援ワーキング部会

## 1. 在宅療養者の食支援について



## 令和2年度 在宅療養者の栄養・食事支援モデル事業

## (1) モデル事業の経過

## 【A 病院の対象者選定に当たっての課題】

・栄養指導の対象者として、①介護認定がある方、②軽症での入院の方、③独居や高齢者世帯の方、④認知機能がある程度維持できている方の選定を行ったが、該当となる方はいなかった。

一方、介護認定がない方の中で栄養指導が必要な事例がみられたため、介護認定の有無についての条件をなくして対象者選定を行った。

<対象として検討した事例>

①介護認定のない骨折の事例	本人の了解が取れなかった。
② 〃 糖尿病の事例	〃
③要介護1の経口摂取困難の事例 *原因不明の食欲不振(86歳 男性)	本人及び介護者である妻の了解がとれ、訪問予定でいたが、介護者の妻が入院となり訪問ができなくなった。
④経口摂取不良の事例(90歳 女性)	本人の了解が取れなかった。
⑤胸椎圧迫骨折の事例(83歳 女性)	自宅に退院できず、短期入所⇒施設入所

## 【B 病院の対象者選定に当たっての課題】

- ・嚥下障害があり退院前に栄養食事指導を実施した方で、その後、通院をしない場合に在宅訪問をして欲しい。
- ・家族の了解を取るにあたり、新型コロナウイルス感染症予防のため病院内で家族と会えるのは退院時のみであり、説明の機会が限られる。
- ・ケアマネジャーより栄養指導内容の情報を共有することが必要なケースをモデル事業の対象にしてはどうか。

## (2) 事業の課題及び今後の方向性

今年度はモデル事業の対象者として1事例選定したが、訪問まで実施できなかった。低栄養やフレイル予防を目的とした本モデル事業の対象者については、医療現場にて栄養・食事支援が必要と考えるケースに差がみられた。モデル事業の対象者選定にあたっては医療機関からだけでなく、地域で高齢者支援をしているケアマネジャーからの事例を栄養士につなげることも検討していく必要がある。

次年度は、モデル事業の対象者選定方法の再検討を行い、引き続き在宅療養者の栄養・食事支援モデル事業に取り組む。

## 2 介護者支援について

今後、更なる「介護者支援」を検討するにあたり、家族介護教室に参加する介護者にアンケートを実施する。  
現在、各事業所で実施しているアンケートに以下の項目を追加する。

以下、アンケート項目

---

★在宅で介護をされている方にお伺いします。

(1) 介護に関する悩みや心配事を相談する人がいますか。

いる ⇒下記のあてはまるもの全てに○をお願いします。

家族、ケアマネジャー、介護施設のスタッフ、その他（ ）

いない

(2) 同じ立場の介護者と交流する機会がありますか。

ある ⇒どのような方法で交流しておられますか。

ない

(3) ご自身がリフレッシュすることができていますか。

できている ⇒どのような方法でリフレッシュをしていますか。

できていない

◆◇◆ 医療や介護について困ったら、一人で抱え込まずに

射水市役所・地域福祉課や地域包括支援センターに相談しましょう。◆◇◆

射水市では、認知症の人やそのご家族等が情報交換したり、専門職に相談することができる場として、「認知症カフェ」や「なごもっと」を開催しています。

詳しくは、射水市役所・地域福祉課にご相談ください。(電話：51-6625)

## 情報共有ワーキング部会

## 1 射水市多職種連携支援システムの運用状況（R4. 2. 14 現在）

## (1) 登録施設数・ID 発行数

	区分	登録施設数		ID 発行数	
		R3. 2. 1	R4. 2. 14	R3. 2. 1	R4. 2. 14
1	医療機関（医科）	14	18	60	113
2	医療機関（歯科）	5	13	7	15
3	薬局	20	21	43	52
4	居宅介護支援事業所	24	31	64	77
5	地域包括支援センター	5	5	24	26
6	介護保険サービス事業所	50	78	155	222
7	その他（行政書士事務所・障がい者相談支援事業所・マッサージ事業所・ふくし総合相談センターすてっぷ）	3	4	5	10
	計	121	170	358	515

R3. 2. 1 現在の数値は参考値として掲載

## (2) 情報共有開始者 127 名（R3. 2. 1 現在 50 名）

内訳：看取り 50 認知症 17 難病 9 障害 2 等

## 2 診療情報提供書の様式改正（別紙 1）

診療情報提供料（I）が算定できるよう、宛先・目的の項目を追加。胸部エックス線や感染症の検査項目、障害高齢者の日常生活自立度・認知症高齢者の日常生活自立度を記載する様式に改正した。

## 3 訪問歯科診療等実施一覧の作成（別紙 2）

射水市歯科医師会員へ「訪問歯科診療に関するアンケート」を実施し、内容について一覧表を作成し、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・訪問看護等の介護保険事業所へ相談対応用として情報提供する。

## 4 看取り事例報告会・情報交換会の開催（別紙 3）

## 5 多職種連携研修会の開催（別紙 4）

## 6 今後の取組みの方向性

## (1) 情報共有ツール活用ガイド第 3 版の作成と情報共有ツールの普及

## (2) 射水市多職種連携支援システムの普及・活用の推進

射水市多職種連携支援システムの多目的な活用（同職種連携、情報の一覧表の掲載、便利機能の掲載・活用、災害時の活用等）について検討する。

## (3) ACP の普及

コロナ禍における ACP の普及方法を検討する。

# 別紙 1

(令和3年9月作成様式)

## 診療情報提供書の依頼

ふりがな  
利用者 ( ) 様について、介護保険サービス ( 開始・継続・再開・施設入所 ) の  
目的で、診療情報提供書の作成をご依頼申し上げます。

\_\_\_\_\_ 病院・医院・クリニック  
\_\_\_\_\_ 先生

### 利用者情報

要介護認定 要支援 1・2  
要介護 1・2・3・4・5 申請中  
認定有効期間  
( 年 月 日 ~ 年 月 日 )

《 検査の実施について 》 ※該当番号に○印

・胸部X線 ① 必要 ② 1年以内の検査結果があれば検査不要 (無ければ必要) ③ 不要

・感染症検査 (HBs抗原, HCV) ① 必要 ② 過去の検査結果があれば検査不要 (無ければ必要) ③ 不要

・感染症検査 ( ) ※MRSA・TPHA等必要な検査名を記入 ① 必要 ② 不要

〈 作成期限 〉 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日頃まで

〈 連絡欄 〉 \_\_\_\_\_

情報提供先 (事業所名)

サービス名

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

【依頼者】 事業所名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

連絡先 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_



# 診療情報提供書 <射水市介護保険サービス用>

※宛先(事業所名)

作成日 年 月 日

医療機関名・所在地

医師氏名

ふりがな 氏名		男・女	明治・大正・昭和 年 月 日生( 歳)
住所		電話番号	( ) —

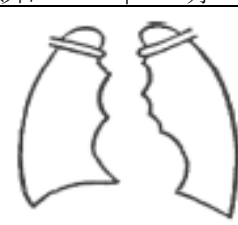
要介護認定	要支援 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2、要介護 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5、 <input type="checkbox"/> 申請中、 <input type="checkbox"/> 未申請
-------	--

障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度)	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2 <input type="checkbox"/> 不明
--------------------------	---

認知症高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> 不明
----------------	---

診断名	発症年月日	年 月 日
	発症年月日	年 月 日
	発症年月日	年 月 日
既往症	発症年月日	年 月 日
	発症年月日	年 月 日

治療経過及び治療内容 (特に注意が必要な薬剤情報)	
------------------------------	--

身体状況	麻痺	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →	胸部X線所見 撮影日 年 月 日  <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 検査不能
	皮膚疾患	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →	
	褥瘡	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →	
	食物・薬アレルギー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →	
	栄養状態	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 →アルブミン g/dl (参考:6か月以内値)	
	感染症	HBs抗原(+-) HCV(+-) 検査日 年 月 日 検査名 ( ) 結果:	

精神症状	中核症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 重度 <input type="checkbox"/> 中度 <input type="checkbox"/> 軽度
	認知症 行動・心理 症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 幻視・幻聴 <input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 暴言 <input type="checkbox"/> 暴行 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 異食 <input type="checkbox"/> 介護への抵抗 <input type="checkbox"/> その他( )
	精神・神経症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →

介護サービス提供における留意事項	
入浴上の注意	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → (入浴可能範囲の血圧値 ~ mmHg)
食事上の注意 (治療食・制限食など)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →
送迎・移動上の注意	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →
その他、特記事項など	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 →

※目的	【依頼者】事業所名( ) 担当者名( ) 書類作成依頼の際は、別紙「診療情報提供書の依頼」(A5版)を必ず添付。
-----	--

※所定の内容の記載により「診療情報提供料(I)」が算定できます。

# 別紙 3

## 令和3年度 包括会議での看取り事例報告・情報交換会 実施報告

### 1 目的

在宅における看取りの事例を通して、多職種の連携・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実際について学ぶ。また、地域包括支援センター圏域の多職種が集まる事で顔の見える関係性づくりを行う。

### 2 内容

- ①ケアマネジャーより看取りI事例の報告(約20分間)
- ②主治医からの助言・情報交換(約40分間)

### 3 開催結果

日時・会場	事例提出事業所	主治医	圏域地域包括支援センター	参加者数
R4.1.18(火)13:30~14:40 救急薬品市民交流プラザ1階研修室	ケアサークルひばり居宅介護支援事業所 原ケアマネジャー	白やぎクリニック 八木 清貴先生	小杉・下	32名
R4.1.19(水)13:30~14:30 クリーンピア射水2階	ケアホーム新湊あいの風看護小規模多機能型居宅介護 國永ケアマネジャー	のざわクリニック 野澤 寛先生	新湊東	25名
R4.1.20(木)14:00~15:15 クロスベイ新湊2階 ICN ホール	射水万葉苑居宅介護支援事業所 石田ケアマネジャー	矢野医院 矢野 博明先生	新湊西	28名

### 4 参加者の学び・感想

- ・何度も話し合っ信頼関係を構築していくことが重要。コロナ禍で緩和ケア病棟が閉鎖される現状の中で、在宅療養の支援者がチームとなる事で緩和ケアができる。
- ・ケアマネジャーが本人・家族との関係性を築けていたので、他の職種が関わりやすかった。
- ・状態の変化が大きくタイムリーな対応が必要な場合、ICT ツールは有用。在宅ケア連携ノートは、本人が亡くなった後も家族が振り返って見る事ができ、意味がある物である。
- ・ケアマネジャーは医療関係者への遠慮がある。知りたいと思った場合は図々しく聞き、支援者で共有していく事が重要。
- ・看取りの経験が少ないので、事例が参考になった。日々の関わりの中に ACP がある。

### 5 今後の開催予定

日時・会場	事例提出事業所	主治医	圏域地域包括支援センター
R4.3.15(火)13:30~14:30 中太閤山コミュニティセンター	太閤の杜居宅介護支援センター 奥多ケアマネジャー	真生会富山病院 本多 正治先生	小杉南
R4.3.17(木)13:30~14:30 射水市大門総合会館 4階 402 会議室	ニチイケアセンターいみず 國分ケアマネジャー	のざわクリニック 野澤 寛先生	大門・大島

# 令和3年度 多職種連携研修会

テーマ

## 「ICT を活用した多職種連携と ACP、 コロナ禍における在宅医療・介護について」

参加費無料  
事前申込制

YouTube による動画配信での研修です。  
PC・タブレット・スマートフォンの各デバイスから参加できます。

### 配信期間

令和4年3月14日(月)正午 12:00 ~ 3月25日(金)正午 12:00 まで  
アンケート回答期限は、令和4年3月31日(木)です。

### 申込締切 令和4年3月4日(金)

【申込方法】 メール本文に①~④の項目を記載し、下記のアドレスへお送りください。

**E-mail : za-imizu@imizu.weblike.jp**

○メールタイトル「多職種連携研修会申込」

- 本 文
- ①所 属 (病院名、薬局名、事業所名等)
  - ②参加代表者氏名
  - ③参加者氏名 (複数名も可)
  - ④電話番号、FAX 番号

届いたメールアドレスに、動画へのアクセス方法と資料等を返信いたします。  
必ず受信可能なメールアドレスから送信してください。

## 動画コンテンツ

動画  
1

挨拶 在宅医療いみずネットワーク 野澤 寛 代表

事例紹介「多職種連携を行った胃癌終末期看取り事例の紹介」

- ・看取りの事例を通して、ICT を活用した多職種連携・食支援の実際を知る
- ・「人生会議の記録」について学ぶ

出演:のざわクリニック 野澤 寛 先生

射水市小杉在宅介護支援センター池多 池原 浩史 ケアマネジャー

動画  
2

講演「ICT の活用はその人の望む暮らしを守る」

- ・看取りの事例からみる在宅療養における歯科医師の役割と多職種連携
- ・射水市歯科医師会の在宅歯科医療の取組み

出演:真生会デンタルクリニック 稲田 雅一 先生

動画  
3

Q&A「コロナ禍における在宅医療・介護」

- ・新型コロナウイルス感染症の知識
- ・コロナ禍における在宅療養の課題

出演:のざわクリニック 野澤 寛 先生

白やぎ在宅クリニック 八木 清貴 先生

挨拶 射水市居宅介護支援事業者連絡協議会 長谷 英寿 会長

在宅医療いみずネットワーク・射水市居宅介護支援事業者連絡協議会

普及啓発ワーキング部会

令和3年度在宅医療と介護を考える市民講座

～この街で この家で ずっとあなたといたいから～ 実施報告

1 ケーブルテレビを活用した普及啓発について

(1) 放送日 令和4年2月14日(月)～2月27日(日) 2週間

(2) 時間 1日2回 15分番組

1回目 9:45～10:00

2回目 16:45～17:00

(3) 内容

「ワクチン打ったから～えー！知らなんだ～」

- ・コロナワクチンの効果ってどのようなもの？
- ・コロナワクチンの接種後、どのように過ごしたらいいの？
- ・コロナ禍でも、元気にいきいきと暮らすためにできること

出演者：松浦部会長、鳴歯科医師、矢野医師、毛利氏（富山福祉短大）、上田氏（サエラ薬局新湊店）、荒井氏（厚生センター射水支所）、林氏（大門・大島包括）

※全編手話通訳付き（益塚：地域福祉課）

2 射水市ホームページでの配信について

ケーブルテレビで放送した市民講座を動画（YouTube）配信予定

令和3年度 ワーキング部会実施状況について

・在宅支援ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R3年8月27日(金) 19:00~20:00	ハイブリッド形式	7名	・在宅療養者の栄養、食支援モデル事業の検討 ・家族介護教室における介護者支援の検討
R3年12月13日(月) 19:00~20:00	射水市役所 202会議室	6名	・栄養、食支援モデル事業の進捗状況 ・認知症の介護者支援事業の紹介 ・家族介護教室参加者アンケート内容の検討
R4年2月8日(火) 19:00~20:00	ハイブリッド形式	6名	・保険年金課の栄養相談窓口の活用状況の報告 ・栄養、食支援モデル事業の経過と課題 ・家族介護教室参加者アンケートについて ・食支援に関する研修会の紹介

・情報共有ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R3年8月31日(火) 19:15~20:12	オンライン	7名	・射水市多職種連携支援システムの運用状況 ・診療情報提供書様式改正 ・多職種連携研修会の内容
R3年10月29日(金) 19:15~21:00	射水市役所 304会議室	6名	・射水市多職種連携支援システムの普及・推進における課題 ・ACPの取組みと課題 ・訪問歯科診療実施一覧の作成
R4年1月31日(月) 19:15~20:05	オンライン	6名	・訪問歯科診療アンケート結果 ・射水市多職種連携支援システムの活用 ・看取り事例報告会・情報交換会の報告 ・情報共有ツール活用ガイドの内容更新 ・今後の取組みの方向性

・普及啓発ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R3年8月31日(火) 19:00~20:00	ハイブリッド形式	7名	・「在宅医療と介護を考える市民公開講座」に代わる普及啓発の方法と内容
R3年11月1日(月) 18:55~19:45	射水市役所 303会議室	7名	
R3年12月16~R4年 1月13日	救急薬品 市民交流 プラザ 他	7名	・普及啓発動画の撮影